

環境調査結果のお知らせ

平成25年12月9日午後2時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知支所前岸壁)の環境調査をしましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1)

湾内の水温は13.8~18.1℃、塩分は25.3~31.7でした。前回調査時(H25.11.18)と比較して、水温は4~6℃低下、塩分は0~2低下していました。

溶存酸素量(表1)

湾内の溶存酸素量は7.5~8.2mg/lで、前回より1~2mg/l上昇していました。

プランクトン(表2・3)

透明度は2.5mでした。

検鏡の結果、貝類の赤変化を引き起こす危険性のあるミリオネクタ・ルブラが4cells/ml確認されました。

海面の様子や魚等の生物の異常を感じたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温・塩分・溶存酸素量

測定水深 (m)	今回調査			前回調査(H25.11.18)		
	水温 (℃)	塩分	溶存酸素量 (mg/l)	水温 (℃)	塩分	溶存酸素量 (mg/l)
0	13.8	25.3	8.2	19.3	27.3	7.1
1	17.1	29.4	8.0	21.6	30.3	6.4
B-1	18.1	31.7	7.6	22.1	31.6	6.1

表2 水深・透明度

	今回	前回
水深(m)	3.4	3.0
透明度(m)	2.5	2.5

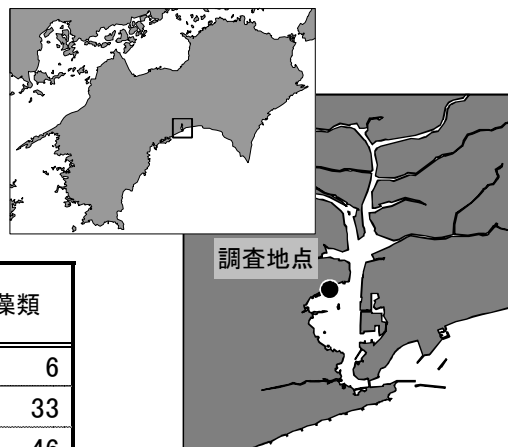


表3 プランクトン(cells/ml)

測定水深 (m)	ミリオネクタ・ルブラ	アカシオ・サンガイネア	ジャイロディニウム属 (ドミナンス、スピラレ)	ケイ藻類
0	1	1	0	6
1	4	3	0	33
2	1	4	2	46

漁業被害が想定される細胞密度
ミリオネクタ・ルブラ(貝類の赤変化): 10cells/ml